



マルチコントロール MDメインユニット

E3310 MDT

取扱説明書



お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本機は DC 12V ⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V 車では使用しないでください。
火災などの原因となります。
- 自動車の運転中にMD等の交換をしないでください。
事故などの原因となります。
- 包装材のビニール袋をかぶらないでください。
大きな事故や窒息死の原因となります。
- 自動車の運転中に音量調節等の操作をしないでください。
このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。
- 事故防止のため、電池は幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合はただちに医師と相談してください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。

 警告

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズをご使用ください。
規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
そのままご使用になると事故、火災、感電の原因となります。

 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電やけがの原因となることがあります。
- 長時間歪んだ状態で使用しないでください。
スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機は不可視レーザー光を使用しています。本機を分解、改造しないでください。
万一不具合が生じた場合には、必ずお買い求めの販売店にご相談ください。本機の改造は、危険なレーザー放射の被爆（視力の低下の原因）をもたらしたり、事故の原因となることがあります。

 注意

- 指定の電池以外は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混せて使用しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。
 - 電池を機器内に挿入する場合、極性<+・->に注意し、表示通りに入れてください。
間違えると、電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
-

目 次

使用上のご注意	7
MD プレーヤについて	7
ミニディスク (MD) について	8
清掃について	9
各部の名称	10
基本操作	11
電源を入れる／切る	11
MDを聞く	11
ラジオを聞く	12
音量を調節する	13
その他	14
MD部の操作	20
MDを聞く	20
ディスクを取り出す	21
タイトル名／曲名を表示する	21
次の曲に進む／曲の頭に戻る	22
曲の始めの部分を演奏する (SCAN)	22
繰り返し演奏する (REPEAT)	23
曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)	23
チューナ部の操作	24
自動的に放送局を記憶させる	24
手動で放送局を記憶させる	25
記憶させた放送局を確認する	26
放送局名を表示する	27
FM放送について	29

リモコンの操作	32
使用上の注意	32
清掃について	32
電源を入れる／切る	33
音量を調節する	33
機能を切り換える	33
チューナ利用時の操作	34
MD、CD利用時の操作	35
TV利用時の操作（TVチューナ接続時のみ）	36
電池を交換する	37
(別売) CDオートチェンジャー（CDプレーヤ）を接続したときの操作	39
基本操作	39
(別売) MDチェンジャーを接続したときの操作	43
基本操作	43
(別売) DSP／EQを接続したときの操作	47
DSPの操作	47
EQの操作	51
困ったときは	54
インフォメーションが点滅する	54
仕様について	59
アフターサービスについて	61

◆ 使用上のご注意



警告

走行中のオーディオ操作は、運転に支障がないように安全には十分注意して行ってください。

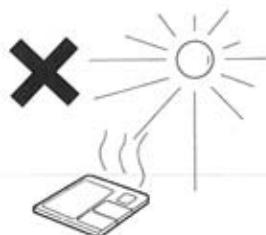
MD プレーヤについて

- ・寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るよう、テッキ内部にも露（水滴）が生じることがあります。
この場合、音がとんだり、再生が停止したりするので、しばらくの間、換気またはエアコンティショナーなどを始動し、除湿してからご使用ください。
- ・本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。
- ・夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げてからお使いください。
- ・ミニディスク挿入口へは絶対に異物を入れないでください。
- ・悪路を連続走行した場合、音がとぎれたりすることがありますが、故障ではありません。

ミニディスク（MD）について

●注意●

ミニディスクは直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。ミニディスクが反り、使用できなくなる恐れがあります。



- ・ラベルがはがれかけていたり、
ネームテープが貼つてあるミニディスクは使用しないでください。



- ・ミニディスクは、ケースに入れて
保管してください。



- ・ミニディスクのシャッターは、手
で開けないでください。



清掃について

- ・本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

●注意●

ベンジンやシンナーなどを使用すると、ケースや塗装が変質するので使用しないでください。

- ・ミニディスクのカートリッジ部表面についたホコリやゴミなどは乾いた布で拭き取ってください。

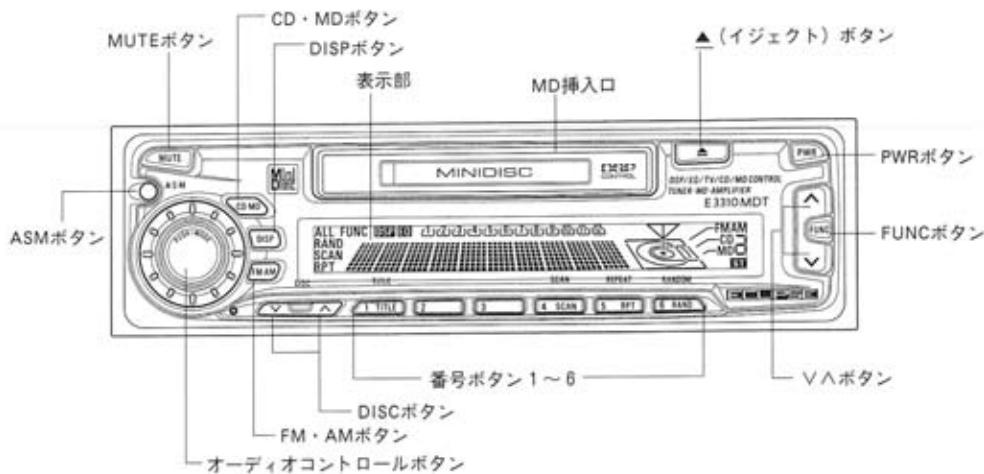


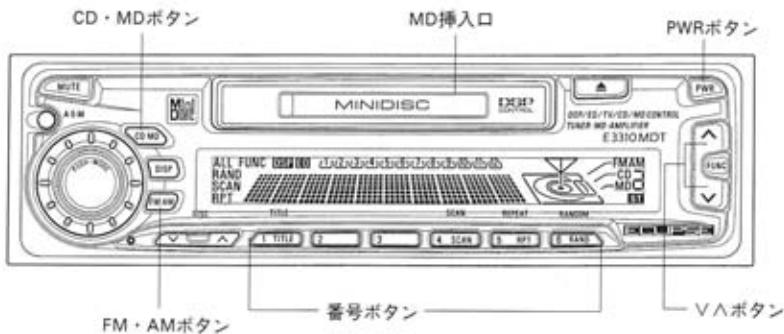
◆ 各部の名称

本機のおもなボタンを紹介します。

詳細は、各操作の説明を参照してください。(MD部の操作
20ページ、チューナ部の操作 24ページ)

本機正面





◆ 基本操作

本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。

■ 電源を入れる／切る

1. [PWR] ボタンを押す

ボタンを押すとスタンバイ状態となり、ボタンを長めに（2秒以上）押すとOFF状態になります。

■ MD を聞く

1. 挿入口にMDを挿入する

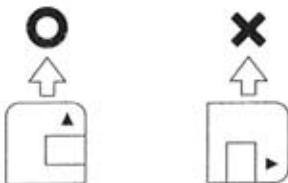
挿入と同時に演奏を開始します。

●ワントイント

すでにMDが装てんされているときは、[CD・MD] ボタンを押すと演奏を開始します。

●注意●

MDの矢印の向きを確認し、ラベル面を上にして挿入してください。



■ ラジオを聞く

1. [FM・AM] ボタンを押す

チューナーの操作に切り換わります。

2. [FM・AM] ボタンを押して、FM／AMを切り換える

ボタンを押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

3. [▽ △] ボタンを押して、放送局を選択する

[▽ △] ボタンを短めに（1秒未満）押すと手動で、長めに（1秒以上）押すと自動的に放送局を探します。

△…周波数の高いほうへ選局

▽…周波数の低いほうへ選局

●ワントイント

放送局を記憶させてある場合は【番号ボタン1～6】のいずれかを押して、放送局を直接選択できます。（「手動で放送局を記憶させる」25ページ参照）



■ 音量を調節する

1. [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す

左に回す…音量が小さくなる

右に回す…音量が大きくなる

●ワントイント

瞬時に音量を小さくしたいときは、[MUTE] ボタンを押します。

音量を大きくするには、もう一度 [MUTE] ボタンを押すか、[オーディオコントロール] ボタンを左右どちらかの方向に回します。

■ その他

本機は、他に次のような機能があります。

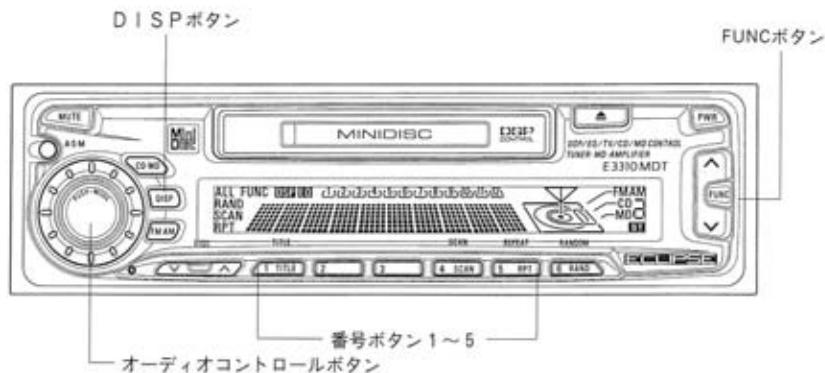
▼ガイドトーン（操作音）解除

お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンがなるように設定されています。次の手順でガイドトーンが解除できます。

1. 電源が入っていることを確認する
 2. [FUNC] ボタンを押す
 3. 「BEEP OFF」と表示されるまで [番号ボタン 6] を押す
 4. 再度 [FUNC] ボタンを押す
- ファンクションモードを解除します。

●ワントップ

再びガイドトーンがなるように設定するときは、同様の操作を行い「BEEP ON」と表示させます。



▼時刻の設定

本機は、12時間表示になっています。真夜中はAM12:00、正午はPM 12:00と表示されます。

1. [DISP] ボタンを押して、時計表示に切り換える
2. [DISP] ボタンを押しながら【番号ボタン1】～【番号ボタン4】を押す

時間を調節します。

番号ボタン1 … 数字が減る

番号ボタン2 … 数字が増える

分を調節します。

番号ボタン3 … 数字が減る

番号ボタン4 … 数字が増える

●ワントイント

00分00秒（正時）に時計を合わせたいときは、[DISP] ボタンを押しながら【番号ボタン5】を押します。

正時合わせは、30分単位で切り換わります。

例)

PM 3:29 → [DISP] ボタン + 【番号ボタン5】 → PM 3:00

PM 3:30 → [DISP] ボタン + 【番号ボタン5】 → PM 4:00

▼オーディオコントロールモードの切り換え

各モードの微調整が行えます。

1. [オーディオコントロール] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順に切り換わります。

1. VOLUME (音量)
2. DSP (簡易調整)
3. EQ (簡易調整)
4. BASS (低音)
5. TREBLE (高音)
6. FADER (前後のスピーカのバランス)
7. BALANCE (左右のスピーカのバランス)
8. SUB-W LEVEL

2. [オーディオコントロール] ボタンを左右に回して調整する

右…強調する

左…弱める

●ワントピ

・DSP/EQの簡易調整は、DSP/EQ接続時 (DSP/EQ ON 時のみ) のみ可能です。

また、DSP/EQの詳細で調整すると、簡易調整は飛ばされます。

(47ページ参照)

・BASS、TREBLEは各ソース (AM、FM、CD、MD、TV) ごとの調整となります。

▼サブウーファの位相切り換えをする

以下の手順で位相を切り替えます。

1. [FUNC] ボタンを押す

2. [番号ボタン 5] を押す

フルレンジスピーカとウーファとの音のつながりを位相を切り換えることにより改善できます。

位相を切り換えて違和感なく音のつながる方を選択してください。

3. 再度 [FUNC] ボタンを押す

ファンクションモードを解除します。



○：コントロール可能 ×：不可能

DSP/EQ 未接続時	DSP/EQ接続時			
	DSP/EQ OFF	DSP ON	EQ ON	DSP/EQ ON
VOLUME	○	○	○	○
BASS	○	○	×	×
TREBLE	○	○	×	×
BALANCE	○	○	○	○
FADER	○	○	○	×
SUB-W LEVEL	○	○	○	○
SUB-W PHASE	○	○	○	○

▼ラウドネスの設定

ラウドネスを設定すると、一定のレベルで低音を強調します。小さな音量で聞くときにラウドネスをONにすると低、高音の不足感が補正されます。

1. 「LOUD ON」と表示されるまで [オーディオコントロール] ボタンを押す

●ワントイント

- ・ラウドネスを解除するときは、同様の操作を行い「LOUD OFF」と表示させます。

▼デモンストレーション機能（販売店様向け機能）

お買い求め（取り付け）になったときは、本機およびオプションで接続した機器が持っている機能を一定の間隔で表示（デモンストレーション）するように設定されています。

次の手順で表示の設定／解除を行います。

1. 電源が入っていることを確認する

2. [FUNC] ボタンを押す

3. [番号ボタン 6] を押す

設定がONになっているときは解除され、OFFになっているときはONになります。

4. 再度 [FUNC] ボタンを押す

ファンクションモードを解除します。

●アボイント

- ・上記以外に、本機の電源をOFFにしたり、ACCをOFFにしたりすると解除されます。

- ・[DISP] ボタンを押すと、次の順で切り換わります。

チューナーモード時

周波数表示 → 放送局名表示 → 時計表示

TVモード時

状態表示 → 時計表示

CDプレーヤ、CDチェンジャー、MDチェンジャー時

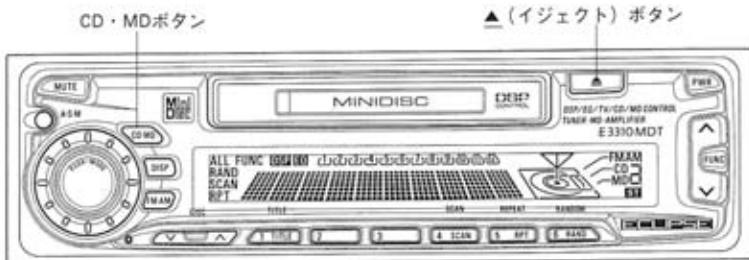
TRACK、経過時間表示 → タイトル表示 → 時計表示



警告

自動車の運転中に音量調節等の操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。

MD部の操作



◆ MD部の操作

ここでの操作は、[CD・MD] ボタンを押してディスクモードに切り換えてから行ってください。CDプレーヤを接続しているときは、ディスクの挿入、取り出し以外の操作はMDの操作と共通しています。

■ MDを聞く

1. [CD・MD] ボタンを押す

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。

MDチェンジャー、CDプレーヤ、CDチェンジャーを接続しているときは、ボタンを押すごとにMDプレーヤ→MDチェンジャー→CDプレーヤ→CDオートチェンジャー1→CDオートチェンジャー2の順に切り換わります。

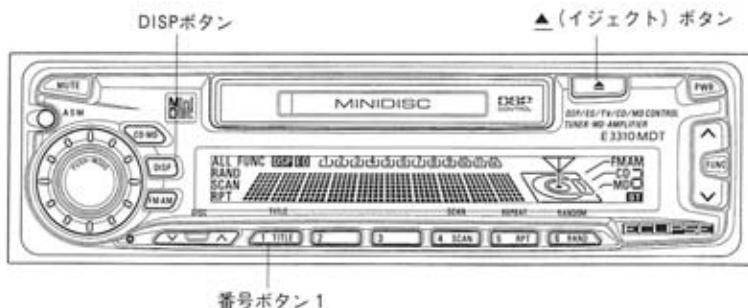
このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

●ワンポイント

ディスクがセットされているときは、[▲(イジェクト)] ボタンが赤く点灯します。

●注意●

MDに傷があると、演奏中に音が途切れことがあります。



■ ディスクを取り出す

1. [▲(イジェクト)] ボタンを押す

装てんされているディスクが排出されます。

■ タイトル名／曲名を表示する

ディスクにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらをスクロール表示することができます。表示可能な文字数は、英数字、カタカナ合わせて32文字です。表示部には、最大10文字まで表示され、以降の文字はスクロールして表示されます。

1. [DISP] ボタンを押して、タイトル名または曲名が表示されるまで切り換える

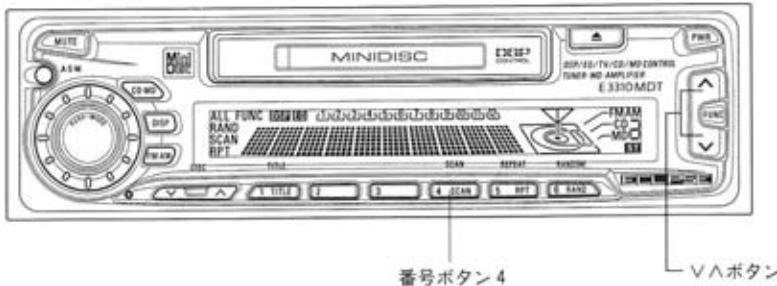
ボタンを押すごとに時計 → トラックNo.・経過時間 → タイトルの順に切り换わります。

2. [番号ボタン1] を押す

ボタンを押すと、ディスクタイトル→トラックタイトルの順に切り換わりトラックタイトルで固定されます。再度、ボタンを押すとディスクタイトルから表示されます。

●注意●

- ・ディスクにタイトルが記録されていないときや本機の表示部にディスクのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。



●注意●

- ・入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。

■ 次の曲に進む／曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1. [▽△] ボタンを押す

- △ 次の曲に進む
- ▽ 演奏中の曲の頭に戻る

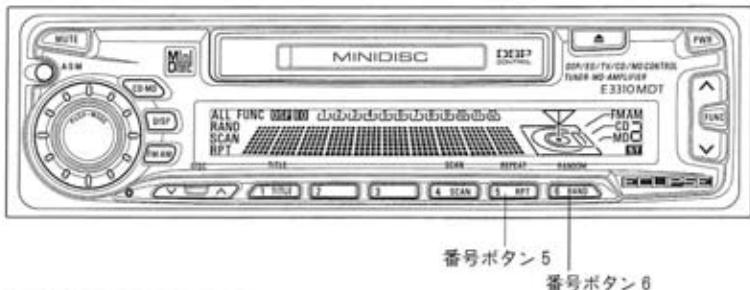
●ワンポイント

ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り（△方向）または早戻し（▽方向）します。

■ 曲の始めの部分を演奏する (SCAN)

1. [番号ボタン 4] を押す

演奏している MD 全曲の始めの部分を10秒間ずつ演奏します。



■ 繰り返し演奏する (REPEAT)

1. [番号ボタン 5] を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

■ 曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)

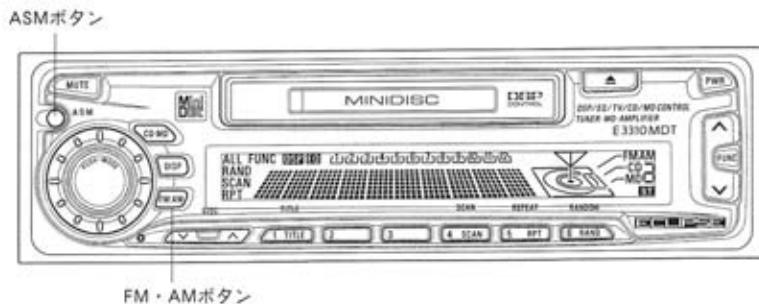
1. [番号ボタン 6] を押す

演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。

●ワンポイント

- ・まれに同じ曲が続けて演奏（選択）されることがありますが故障ではありません。
- ・「曲の始めの部分を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

チューナー部の操作



◆ チューナ部の操作

ここでの操作は、[FM・AM] ボタンを押して、チューナの操作に切り換えてから行ってください。

放送局を記憶させるには、自動と手動の2通りの方法があります。

本機は、AM 1、AM 2 が各 6 局、FM 1、FM 2 が各 6 局の合計24局を記憶できます。

■ 自動的に放送局を記憶させる

1. 「ASM ON」と表示されるまで [ASM] ボタンを押す

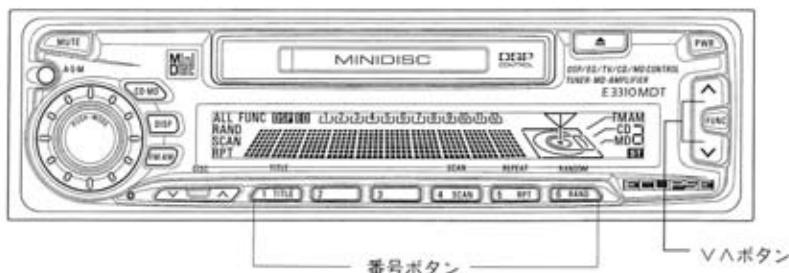
周波数の高い方へ自動的に選局を始めます。

受信電波の強い局が周波数の低い方から高い方へ順に記憶されます。

「ASM END」と表示されると完了です。操作完了後は、最後に記憶された放送局を受信します。

●ワントイント

- ・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- ・ご希望の放送局が記憶されなかつたときは、手動で放送局を選択することもできます。(「手動で放送局を記憶させる」25ページ参照)



■ 手動で放送局を記憶させる

ASM でご希望の放送局がメモリできなかつた場合など、手動で放送を選局する方法を説明します。

1. 「▽△」ボタンで記憶する周波数に合わせる
2. 「P1～6 MEMORY」と表示されるまで任意の「番号ボタン」を押す

選択した放送局が「番号ボタン」に記憶されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。

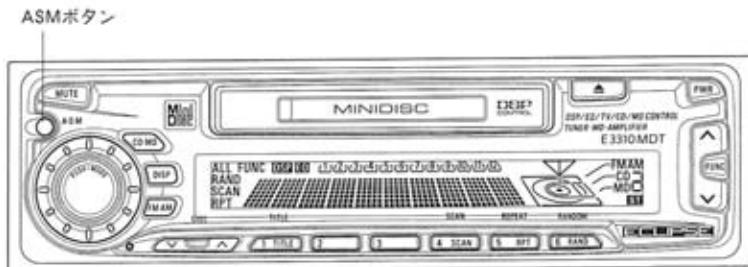
●アボイド

「番号ボタン」を押すと、プリセットした放送局を呼び出すことができます。

●注意

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときおよびリセットボタンの操作をしたときは、ここで記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

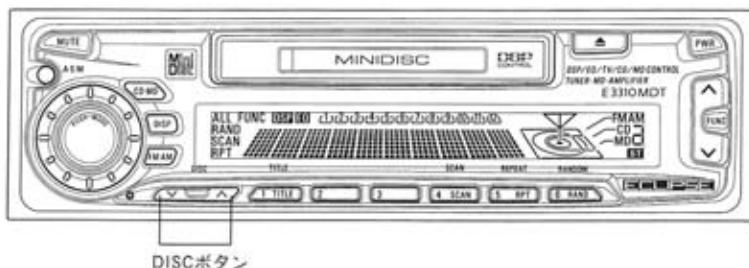
チューナー部の操作



■ 記憶させた放送局を確認する

1. [ASM] ボタンを押す

「P.SCAN」と表示され、記憶された放送局を 5 秒間ずつ受信します。
再度 [ASM] ボタンを押すと解除されます。



■ 放送局名を表示する

受信した周波数に対応する放送局名を表示します。表示する放送局名は、各地域で異なりますのでお使いのエリアを選択してください。

●ワントイント

選択したエリアにその周波数がない場合、放送局名は表示されません。

●注意●

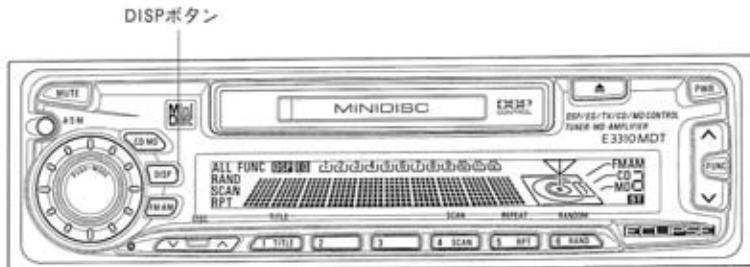
エリアを選択しても、そのエリアでの周波数はプリセットされません。

1. [ディスク] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、下表の順に放送局名エリアが切り換わります。ご使用のエリアを選択してください。

エリア名	対象となる都道府県
ホッカイドウ	北海道
トウホク	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
カントウ	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野
チュウブ	岐阜、愛知、三重、富山、石川、福井、静岡

チューナー部の操作



エリア名	対象となる都道府県
キンキ	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
チュウゴク	鳥取、島根、岡山、広島、山口
シコク	徳島、香川、愛媛、高知
キュウシュウ	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
セツティイ カイジョ	

2. ディスプレイ [DISP] ボタンを放送局名が表示されるまで押す

放送局名が表示されます。

●注意●

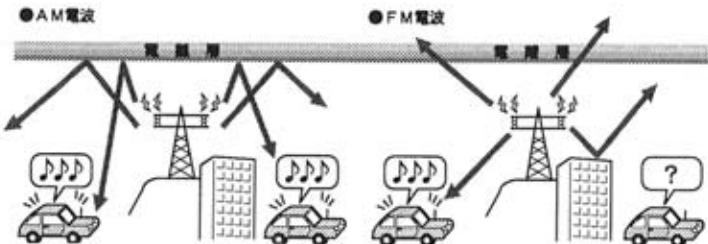
- ・500W以下のAM放送局（中継局）および100W以下のFM放送局（中継局）のデータには対応していないため、放送局名が表示されません。
- ・設定されているエリア以外の放送局を受信したときは、放送局名が表示されない場合があります。
- ・同一エリアに複数の放送局があるときは、次のような表示をする場合があります。
IWATE/NHK……FM 岩手と NHK FM の場合
- ・放送局によっては、正式な名称を表示しないときがあります。
(10文字まで表示します。)
- ・本機の放送局名データは、平成12年1月1日現在のものです。

■ FM放送について

FM放送は、普通のラジオ放送（AM）に比べて、よい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

1. FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もでてきます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。

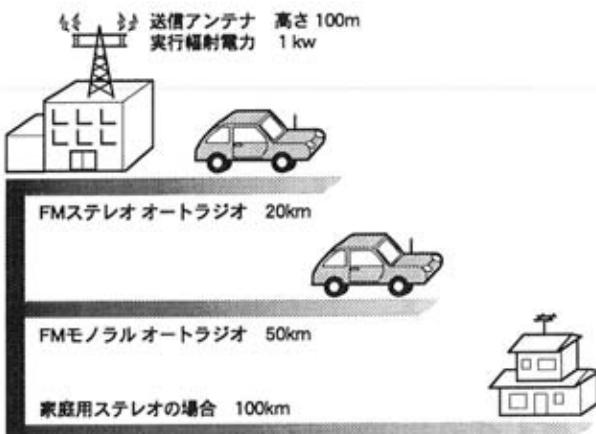


2. フェードアウト

FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れ「シャツ、シャツ」というような雑音が生じる「フェードアウト」（消失）現象が起こることがあります。

3. FM放送のサービスエリア

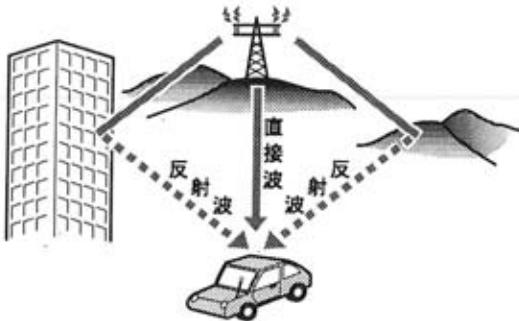
家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナの形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。



4. マルチバス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジユル、ジユル」という雑音がでたり、女声のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチバス」(多重伝播)ひずみといいます。

このような現象は、2の「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こつたときは、車を移動させてください。



◆ リモコンの操作

リモコンは別売になっています。販売店でお買い求めください。

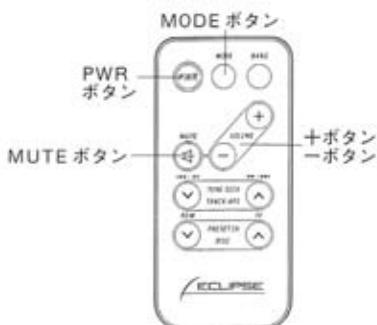
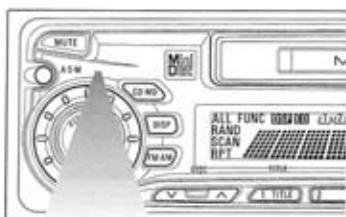
使用上の注意

- ・リモコンは小型で軽量なため取り扱いには注意してください。
落としたりぶつけたりすると、破損したり、電池の消耗を早めたり、誤動作の原因になります。
- ・リモコンは湿気、ほこりを避け、ショックを加えたり、水などをかけたりしないでください。
- ・ダッシュボードなど直射日光のあたる場所には置かないでください。
- ・運転の妨げにならないようにご使用ください。
- ・本体側面の切換スイッチが“ACCポジション無車”側になっているときは、リモコンで電源を切ってもスタンバイ状態のままになります。
車から降りるときは、必ず本体の[PWR]ボタンを押して電源を切ってください。電源を切り忘るとバッテリーが上がる恐れがあります。また、本体の電源が切れているときは、リモコンを使用することはできません。

清掃について

- ・リモコンのお手入れの際は、乾いた布（汚れがひどい場合は水を少しつけて堅くしぼった布）で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使うと、ケースや塗装が変質しますので、絶対に使用しないでください。

リモコンの操作



■ 電源を入れる／切る

1. [PWR] ボタンを押す

ボタンを押すごとに電源が入ったり、切れたりします。

■ 音量を調節する

1. [+] ボタンまたは [-] ボタンを押す

+ …… 音量が上がる

- …… 音量が下がる

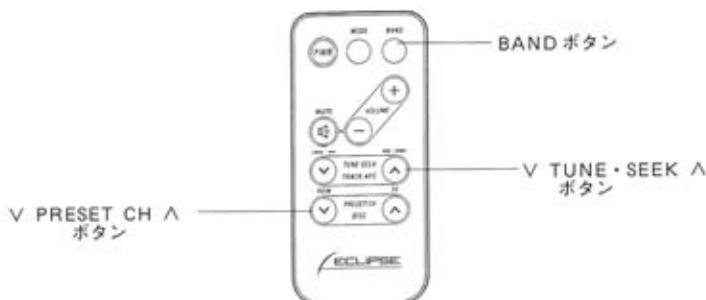
▼瞬時に音量を下げる（ミュート）

〔ミュート〕ボタンを押すと、瞬時に音量を小さくしたり、元に戻したりすることができます。

■ 機能を切り換える

1. [MODE] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、チューナー→ディスク→TV の順に切り换わります。



■ チューナー利用時の操作

▼ FM/AM を切り換える

1. [BAND] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、FM 1 → FM 2 → AM 1 → AM 2 の順に切り換わります。

▼放送局を選ぶ（自動・手動）

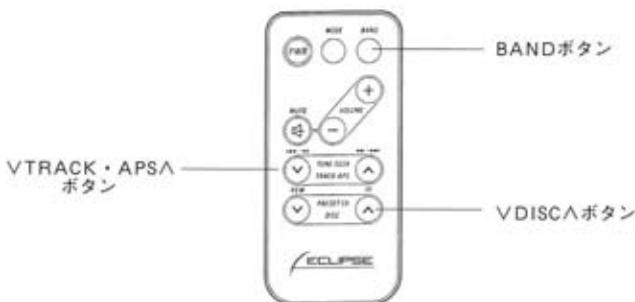
ボタンを短く押すと手動で、長めに（1秒以上）押すと自動で放送局を選べます。

1. [V TUNE・SEEK ▲] ボタンを押す
▲……周波数の高い方へ選局
▽……周波数の低い方へ選局

▼記憶済みの放送局を選ぶ

本体で記憶させた 6 つの放送局（プリセット選局）から呼び出します。
(「手動で放送局を記憶させる」25ページ参照)

1. [V PRESET CH ▲] ボタンを押す
▲……プリセット番号の高い方へ選局
▽……プリセット番号の低い方へ選局



■ MD、CD利用時の操作

▼次の曲に進む／曲の頭に戻る

- トラック・エーピーミス
1. [VTRACK・APSA△] ボタンを押す
△……次の曲に進む
▽……演奏中の曲の頭に戻る

●ワンポイント

ボタンを押しつづけると、演奏中の早送り（△方向）または早戻し（▽方向）します。

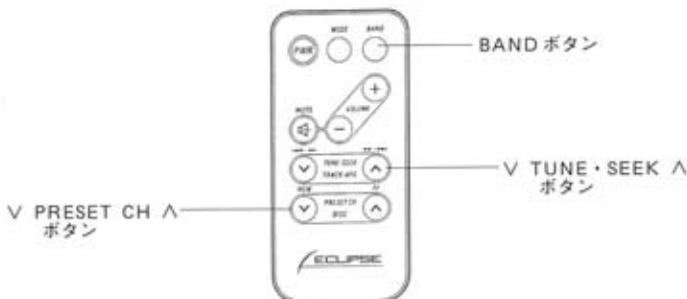
▼次のディスクに進む／前のディスクに戻る

1. [VDISC△] ボタンを押す
△……ディスク番号が上のディスク（次のディスク）へ移動
▽……ディスク番号が下のディスク（前のディスク）へ移動

▼ディスクモードを切り換える

1. [BAND] ボタンを押す
ボタンを押すごとにCDプレーヤ→CDオートチェンジャー1→CDオートチェンジャー2→MDプレーヤ→MDチェンジャーの順に切り換わります。
このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

リモコンの操作



■ TV 利用時の操作 (TV チューナ接続時のみ)

▼チャンネルを選ぶ

プリセット チャンネル
[VPRESET CH▲] ボタンを使うと、本体でプリセットしたチャンネルを選局できます。

1. [VTUNE・SEEK▲] ボタンを押す

▲……数字が上のチャンネルを選局
▼……数字が下のチャンネルを選局

▼バンドを切り換える

1. [BAND] ボタンを押す

ボタン押すごとに、TV 1 → TV 2 の順に切り換わります。

■ 電池を交換する



警告

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、CR2025（1個）をご使用ください。

1. リモコン裏面にある引き出し口のロックを右に移動して解除したまま、引き出し口につめをひっかけて電池ケースを引き出す



2. 電池を入れ替える

+表示を上にして電池をセットしてください。



3. 力チッと音がするまで引き出し口を差し込んで電池ケースを閉める



●注意●

誤って電池を飲み込むことのないよう、取り扱いには十分注意してください。

(別売) CDオートチェンジャーを接続したときの操作



◆(別売) CDオートチェンジャーを接続したときの操作

■ 基本操作

CDオートチェンジャーまたはCDプレーヤを接続したときの操作手順を説明します。

チューナから切り換えるときは【CD・MD】ボタンを押してください。

▼ MD/CDを切り換える

1. 【CD・MD】ボタンを押す

ボタンを押すごとに、CDプレーヤ→CDオートチェンジャー1→CDオートチェンジャー2→MDプレーヤ→MDチェンジャーの順に切り換わります。

このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

▼次の曲に進む/曲の頭に戻る

1. 【▽△】ボタンを押す

△……次の曲に進む

▽……演奏中の曲の頭に戻る

(別売) CDオートチェンジャーを接続したときの操作



●ワントイント

ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り（△方向）または早戻し（▽方向）します。

▼曲の始めの部分を演奏する (SCAN)

1. [番号ボタン 4] を押す

演奏しているCD全曲の冒頭を10秒ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、装てんしている全CDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

▼繰り返し演奏する (REPEAT)

1. [番号ボタン 5] を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のCD内の全曲を繰り返し再生します。

▼曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)

1. [番号ボタン 6] を押す

演奏中のCD内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、装てんしている全CD内の曲を順不同に演奏します。



●ワンポイント

- まれに同じ曲が続けて演奏（選択）されることがあります、故障ではありません。
- 「曲の始めの部分を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

▼次のCDに進む／前のCDに戻る

1. [DISC] ボタンを押す
 - ▲……CD番号が上のディスクへ移る
 - ▼……CD番号が下のディスクへ移る

▼演奏するCDを指定する

装てんしているCDのうちお聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

1. [ASM] ボタンを押す
2. [番号ボタン1~6] のいずれかを押す

番号ボタン	1	2	3	4	5	6
CD番号	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12

CD番号7~12を指定するときは、番号ボタンを長めに押してください。

(別売) CDオートチェンジャーを接続したときの操作



▼CDのタイトルを表示させる

CDを演奏中にすでに用意されているタイトルを表示させることができます。

1. [番号ボタン 1] を押す

9種類のタイトルが用意されています。次の順に切り換わります。

1. JAZZ (ジャズ)
2. POPS (ポップス)
3. ROCK (ロック)
4. FUSION (フュージョン)
5. BALLAD (バラード)
6. GUEST (ゲスト)
7. FAVORITE (フェイバリット)
8. BRANDNEW (ブランドニュー)
9. DELETE (テリート)



◆ (別売) MD チェンジャーを接続したときの操作

■ 基本操作

MDチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。

チューナから切り換えるときは [CD・MD] ボタンを押してください。

▼ MD/CDを切り換える

1. [CD・MD] ボタンを押す

CDプレーヤ→CDオートチェンジャー1→CDオートチェンジャー2→MDプレーヤ→MDチェンジャーの順に切り換わります。

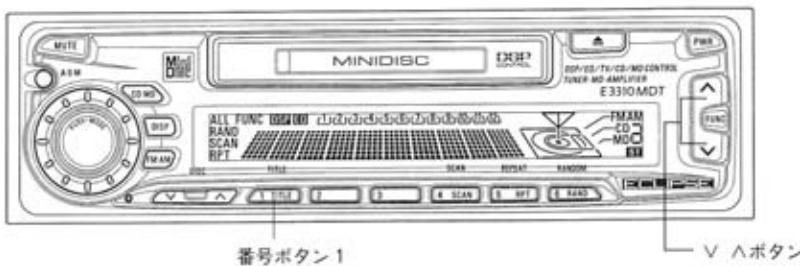
このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

▼ディスクタイトル名/曲名を表示する

MDにディスクタイトル名や曲名が記録されているときは、それらをスクロール表示させることができます。最大32文字まで表示します。

1. [DISP] ボタンを押して、タイトル名または曲名が表示されるまで切り換える

(別売) MD チェンジャーを接続したときの操作



2. [番号ボタン 1] を押す

ボタンを押すごとに、ディスクタイトル→トラックタイトルの順に切り換わります。

●注意●

MDにタイトルが記録されていないときや本機の表示部にMDのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。

▼次の曲に進む／曲の頭に戻る

1. [▼ ▲] ボタンを押す

▲……次の曲に進む

▼……演奏中の曲の頭に戻る

●ワンポイント●

ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(▲方向)または早戻し(▼方向)します。



番号ボタン 4 ~ 6

▼曲の冒頭を演奏する (SCAN) スキン

1. [番号ボタン 4] を押す

演奏中のディスク内の全曲の冒頭を10秒間ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、装てんしている全ディスクの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

▼繰り返し演奏する (REPEAT) リピート

1. [番号ボタン 5] を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のディスク内の全曲を繰り返し再生します。

▼曲の順番を変えて演奏する (RANDOM) ランダム

1. [番号ボタン 6] を押す

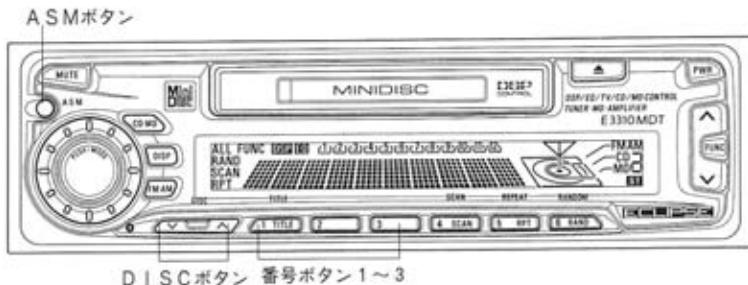
演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、装てんしている全ディスク内の曲を順不同に演奏します。

●ワントップ

「曲の冒頭を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「RPT」、「RAND」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

(別売) MD チェンジャーを接続したときの操作



▼次のMDに進む／前のMDに戻る

1. [DISC] ボタンを押す
△……MD番号が上のディスクへ移る
▽……MD番号が下のディスクへ移る

▼演奏するMDを指定する

装てんしているMDのうちお聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

1. [ASM] ボタンを押す
2. [番号ボタン1~3] のいずれかを押す

番号ボタン	1	2	3
MD番号	1	2	3

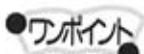


◆ (別売) DSP/EQ を接続したときの操作

■ DSPの操作

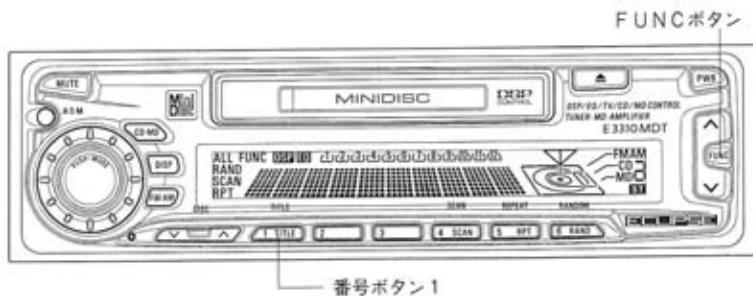
DSPは、再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境（ルームサイズ）の臨場感を擬似的に再現することができます。

ここでの操作は、[FUNC] ボタンを押してファンクションモードに切り換えてから行ってください。ここでは、すでにファンクションモードになっていることを前提に説明します。



DSPがONになっているときは表示部上部に「DSP」と表示され確認することができます。

(別売) DSP/EQ を接続したときの操作



▼ルームサイズを切り換える

1. 番号ボタン 1 を押してルームサイズを切り換える

5 パターンのルームサイズが用意されています。次の順に切り換わります。

1. CONCERT (コンサートホール)
2. LIVE (ライブハウス)
3. CATHEDRAL (残響音の多い教会)
4. STADIUM (野外スタジアム)
5. CLUB (クラブ)
6. DEFEAT (DSP OFF)

2. [FUNC] ボタンを押す

「DSP ADJUST」と表示されます。

調整モードが解除され、切り換えたルームサイズが有効になります。

▼各モードの詳細を調整する

各ルームサイズのモードの詳細を調整します。

1. 詳細を変更したいルームサイズが表示されるまで [番号ボタン 1] を押す
2. ルームサイズが点滅表示するまで [番号ボタン 1] を押し続ける
DSP 調整モードに切り換わります。



3. [オーディオコントロール] ボタンを押して調節するモードを選ぶ

モードは、次の順に切り換わります。

L R000dB (残響音レベル)*

L R000SEC (残響音時間)*

E R000dB (初期反射音レベル)

E R000ms (初期反射時間)

*残響音レベル、残響時間は、CONCERTモードおよびCATHEDRALモード時のみ調整可能です。

4. [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す

レベルや時間を調整します。

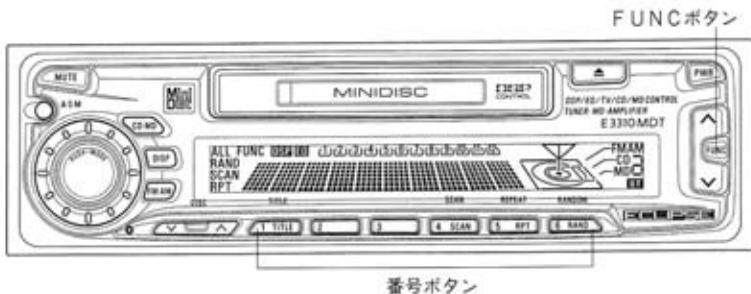
右に回す…数値が増加

左に回す…数値が減少

5. 「P1～6 MEMORY」と表示されるまで記憶させる「番号ボタン」(プリセットボタン)を押す

プリセットが書きかわります。

(別売) DSP/EQ を接続したときの操作



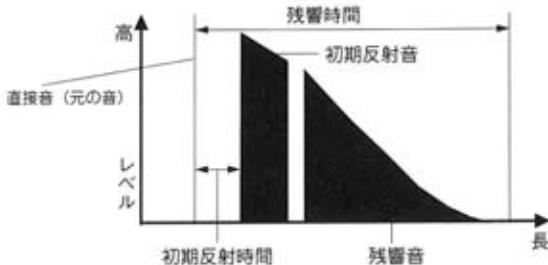
6. [FUNC] ボタンを押す

「DSP ADJUST」と表示されます

調節モードが解除され、変更が有効になります。

●ワントイント

簡易調整については、16ページの「オーディオコントロールモードの切り換え」を参照してください。

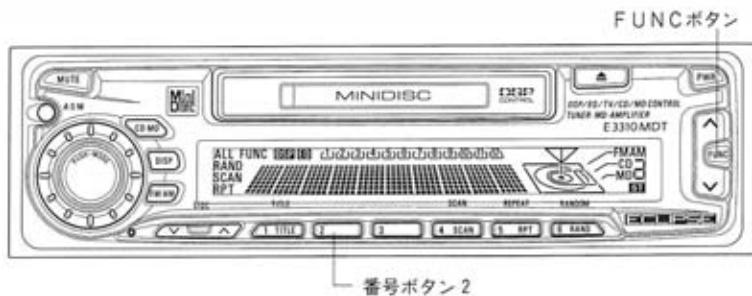


▼記憶したパターンを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したルームサイズを呼び出します。
ルームサイズを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

1. ルームサイズが点滅表示されるまで【番号ボタン】を押す
2. 任意の【番号ボタン】を押してルームサイズを選択する
3. [FUNC] ボタンを押す
(「DSP ADJUST」と表示されます)

選択したルームサイズが有効になります。



■ EQ の操作

EQは、再生する音楽のジャンルや楽器に合わせて周波数を調整し、最適な状態で音楽を楽しむことができます。

ここでの操作は、[FUNC] ボタンを押してファンクションモードに切り換えてから行ってください。ここでは、すでにファンクションモードになっていることを前提に説明します。

●ワントップ

EQがONになっているときは表示部上部に「EQ」と表示され確認することができます。

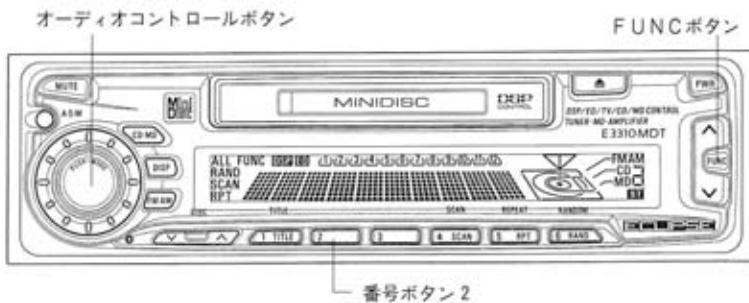
▼イコライザモードを切り換える

1. [番号ボタン 2] を押してイコライザモードを切り換える

6パターンのイコライザモードが用意されています。次の順に切り換わります。

1. POPS (ポップス)
2. ROCK (ロック)
3. JAZZ (ジャズ)
4. CLASSIC (クラシック)
5. VOCAL (ボーカル)
6. NEWS (ニュース)
7. DEFEAT (EQ OFF)

(別売) DSP/EQ を接続したときの操作



2. [FUNC] ボタンを押す
(「EQ ADJUST」と表示されます)
調整モードが解除され、切り換えたイコライザモードが有効になります。

▼各モードの詳細を調整する

各イコライザモードの詳細を調整します。

1. 詳細を変更したいイコライザモードが表示されるまで [番号ボタン 2] を押す
2. イコライザモードが点滅表示するまで [番号ボタン 2] を押し続ける
EQ調整モードに切り換わります。
3. [オーディオコントロール] ボタンを押して周波数を切り換える
周波数は、次の順に切り換わります。
 $63\text{Hz} \rightarrow 125\text{Hz} \rightarrow 250\text{Hz} \rightarrow 500\text{Hz} \rightarrow 1\text{kHz} \rightarrow 4\text{kHz} \rightarrow 12\text{kHz}$
4. [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す
レベルを調整します。
右に回す …… 数値が増加
左に回す …… 数値が減少



5. 「P1～6 MEMORY」と表示されるまで記憶させる〔番号ボタン〕(プリセットボタン)を押す

プリセットが書き換わります。

6. [FUNC] ボタンを押す
(「EQ ADJUST」と表示されます)

調節モードが解除され、変更した内容が有効になります。

▼記憶したイコライザモードを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したイコライザモードを呼び出します。イコライザモードを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

1. イコライザモードが点滅表示されるまで〔番号ボタン 2〕を押す
2. 任意の〔番号ボタン〕を押してイコライザモードを選択する
3. [FUNC] ボタンを押す
(「EQ ADJUST」と表示されます)

選択したイコライザモードが有効になります。

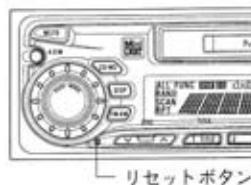
困ったときは

◆ 困ったときは

お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

●注意●

ボタンを押しても正常に動作しない、ディスプレイが誤表示するなどの異常が発生したときは、先端の尖ったものでリセットボタンを押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押すと記憶させた内容は消去され、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。

MDが装てんされているときは、ディスクが排出されるので、ディスクを取り出してください。

■ インフォメーションが点滅する

[INFO No.] が表示されたときは、下表を参考に対処してください。

また、症状が改善されない場合は、機器の故障が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。

No.	インフォメーション	対処
2	マガジンにディスクが入っていない	ディスクを入れてください。
3	ディスクの信号面に紙やシールが貼つ てあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナ等で中心から外側 方向へ軽く拭き取ってください。
4*	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。

No.	インフォメーション	対処
5	オートチェンジャーのメカトラブル	<ul style="list-style-type: none"> オートチェンジャーのイジェクトボタンを押して一度マガジンを出し、再度マガジンを挿入して再生してください。 イジェクトしてもマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
6	オートチェンジャーの内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
7	オートチェンジャーの内部電源が異常になっている	ACCを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
8*	ディスクの交換トラブルが発生している	ディスクを再度挿入するか、取り出してください。

* この内容は、MD のみ適用されます。

困ったときは

	症 状	原 因	処 置	参 照 ペー ジ
共通	音が出ない。音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	13
		ミュート（MUTE）が働いていませんか。	ミュート（MUTE）を解除してください。	13 33
		フェーダやバランスが片寄った設定になっていませんか。	フェーダ、バランスを適正な位置に調整してください。	16
		その他、音声信号配線の断線、スピーカの故障などが考えられます。	お買い求めの販売店で点検してください。	
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取り付けられて電力不足になっていませんか。	お買い求めの販売店で点検してください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、電源、通信配線の断線などが考えられます。	お買い求めの販売店で点検してください。	
	記憶した周波数やタイトルが消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	24 25
		一度にたくさんの電装品を取り付けられて電力不足になっていませんか。	お買い求めの販売店で点検してください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、電源、通信配線の断線などが考えられます。	お買い求めの販売店で点検してください。	
	ガイドトーンが出ない。	ガイドトーンの設定が切られていませんか。	ガイドトーンの設定をし直してください。	14
	リモコン操作ができない。	電池が消耗していませんか。	電池を交換してください。	37
		電池の向きが+/-逆になっていませんか。	正しい向きにセットし直してください。	37
		リモコン受光部に直射日光が当たっていませんか。	リモコン受光部にリモコンを近づけてご使用ください。	33
		その他、リモコンの故障を考えられます。	お買い求めの販売店で点検してください。	

	症 状	原 因	処 置	参 照 ペー ジ
MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐ出てくる。	ディスクカートリッジの向きに誤りはありませんか。	正しい向きにセットし直してください。	
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていませんか。	ディスクのラベルを替えてください。	8
		ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ換えてみてください。変形や破損したディスクは、使用しないでください。	
		無録音のディスクを使用していませんか。	録音済みのディスクを使用してください。	
	ディスクが排出できない。 ディスクチェンジができない。	ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ換えてみてください。変形や破損したディスクは、使用しないでください。	
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていませんか。	ディスクのラベルを整えてください。	8
		ディスクにキズや汚れはありませんか。	他のディスクに入れ換えてみてください。キズのあるディスクは、使用しないでください。	
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	取り付け角度は適正ですか。 取り付けにガタはありませんか。	お買い求めの販売店で点検してください。	
		悪路走行されていませんか。	悪路走行での使用は、できる限り避けてください。	7
		その他、録音に使用された機器の調子が悪い、録音ソース(CD、テープなど)の音質やトラブルなどが考えられます。	お買い求めの販売店で点検してください。	

困ったときは

	症 状	原 因	処 置	参 照 ペー ジ
ラジオ	放送を受信できない。雑音が入る。	アンテナが収納状態ではありませんか。	アンテナを伸ばしてください。	
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	24 25
		旅行などで、放送サービスエリアを外れていませんか。	旅行先の地域の放送周波数にセット直してください。(放送サービスの無い地域もありますので、ご注意ください。)	24 25
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用されていませんか。(高周波を使用する機器は電波障害を引き起こす可能性があります。)	機器のご使用はできる限り避けてください。	
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	お買い求めの販売店で点検してください。	

◆ 仕様について

本機の仕様は、次のようになっています。

MD部

周波数特性	20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	90dB
S/N比	92dB (IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.03% (0 dB, 1 kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

チューナ部

受信周波数	AM 522～1629kHz FM 76.0～90.0MHz
実用感度	AM 22μV (S/N20dB時) FM 12dBf (S/N30dB時)
周波数特性	30Hz～15kHz (FM)
ステレオセパレーション	38dB

共通部

トーンコントロール	・BASS 100Hz±10dB ・TREBLE 10kHz±10dB
ラウドネス	・100Hz+9 dB ・10kHz+5 dB
最大出力	40W×4
適合負荷インピーダンス	4 Ω (各チャンネル)
LINE OUT出力レベル	300mV/-20dB
電源電圧	DC13.2V (11~16V)、⊖アース専用
消費電流	1W×4出力時 約3A、最大約13A
寸法	178mm(幅)×50mm(高さ)×155mm(奥行)
重量	本体約1.3kg

●注意●

部品定数および回路は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

本機は、DSP、TV、MDチェンジャー、CDオートチェンジャーおよびシングルCDと組み合わせることができます。

詳しくは、販売店にお問い合わせください。

◆ アフターサービスについて

1. 販売店でお渡しする保証書は、かならず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をその場でお確かめのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
3. 故障かなと思ったときは、修理に出す前に本書の「困ったときは」をご覧のうえ、もう一度お調べください。それでも問題が解決しない場合は、次の要領でお問い合わせください。
◆保証期間中は、商品に保証書を添えてお買い求めの販売店にお持込みください。
保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
＊修理、点検における商品の脱着費用は、保証期間内でも基本的に有償となります。
◆保証期間が過ぎているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
お客様のご希望により、有料で修理いたします。
4. 出張による修理および点検はおこなっておりません。
かならずお買い求めの販売店にお持ち込みください。
5. この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

アフターサービスについて

商品に関するお問い合わせ先

〈修理に関するお問い合わせは、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ〉

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願ひいたします。

富士通テクノロジーズ(株)	〒003 札幌市白石区菊水9条2丁目1番地	(011) 821-2221	北海道全域
富士通テクノロジーズ(株)	〒160 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03) 5330-6244	東京、神奈川、千葉、甲信越地区
北関東支店	〒329 栃木県小山市大字栗宮185 1番地1	(0285) 22-6410	栃木、埼玉、茨城、群馬
仙台支店	〒983 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号	(022) 256-2291	東北地区
富士通テクノロジーズ(株)	〒450 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052) 581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒920 金沢市尾山町1番8号 (朝日生命金沢ビル)	(076) 222-0185	福井、石川、富山
静岡営業所	〒422 静岡市南町18番1号 (サウスポート静岡13階)	(054) 203-0090	静岡
富士通テクノロジーズ(株)	〒658 神戸市東灘区御影本町6丁目2番21号	(078) 811-2451	兵庫
大阪支店	〒571 大阪府門真市御堂町3番23号	(06) 6902-8414	大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山
広島支店	〒734 広島市南区西霞町2番25号	(082) 255-2422	中国地区
高松営業所	〒760 高松市内町1番13号 (日新内町ビル)	(087) 822-1411	四国地区
富士通テクノロジーズ(株)	〒812 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092) 511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890 鹿児島市中央町16番10号 (スカイビル)	(099) 250-4737	鹿児島、宮崎、

〈商品の機能・操作等に関するお問い合わせは、お求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ〉

【お客様相談窓口】

富士通テクノロジーズ(株)	(011) 821-2221	北海道全域
富士通テクノロジーズ(株)	(03) 3366-3833	東北、関東、甲信越地区
富士通テクノロジーズ(株)	(052) 581-8726	中部、北陸地区
富士通テクノロジーズ(株)	(078) 811-2451	近畿、中国、四国地区
富士通テクノロジーズ(株)	(092) 511-3252	九州全域、沖縄
富士通テクノロジーズ(株)本社	(0120) 022210	

受付時間：午前10:00～12:00 午後1:00～5:00

(土・日・祝日などを除く)

富士通テン株式会社

所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話 神戸 (078) 671-5081 (代表)

090002-23700700
9912TP (1)